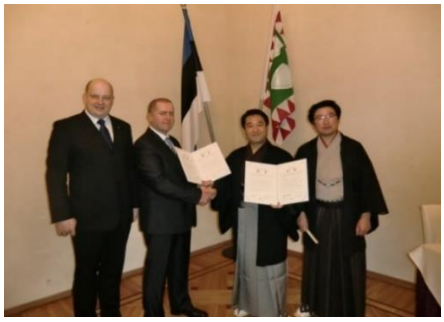
日本国佐久市・エストニア共和国サク市
交流の歩み

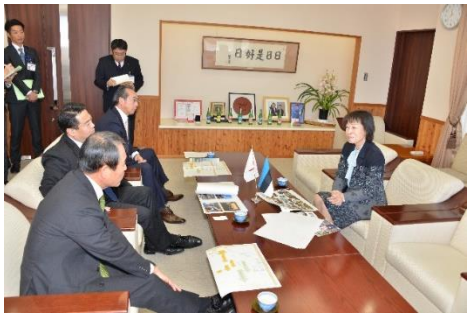
日本国佐久市・エストニア共和国 交流経過

年	月日	できごと
平成 10 年 (1998 年)	9 月	駐日エストニア共和国大使館ルッツ一等書記官が、上信越自動車道を走行中に、佐久ＩＣの標識を見つけ、エストニア共和国内の「サク市」と同じ地名の「佐久市」が知られたことが交流のきっかけとなる。
平成 11 年 (1999 年)	2 月	エストニア共和国独立記念日のレセプションに、佐久市三浦市長と佐久市教育委員会鷹野教育委員長が招待される。
	4 月	駐日エストニア共和国マーク・スィニソー特命全権大使が佐久市を訪問される。
平成 13 年 (2001 年)	10 月	旧佐久市政 40 周年記念式典に、駐日エストニア共和国ピーター・ミラー臨時代理大使が出席される。
平成 15 年 (2003 年)	5 月	佐久バルーンフェスティバルに、駐日エストニア共和国アルゴ・カングロ臨時代理大使が出席される。
平成 16 年 (2004 年)	7 月	佐久市民グループが、佐久市三浦市長のメッセージを携え、エストニア共和国サク市を訪問。(市民グループの訪問を契機として、後に「佐久市エストニア会」が発足。)
	11 月	エストニア共和国アーノルド・リュテール大統領夫妻が来日されたことにあわせ、佐久市三浦市長が駐日エストニア大使館に招待される。
平成 17 年 (2005 年)	2 月	スペシャルオリンピックス長野大会へ参加のエストニア選手 14 名が佐久市でホームステイをする
	6 月	佐久市民グループが、佐久市三浦市長のメッセージを携え、エストニア共和国サク市を訪問。(二次訪問団)
	7 月	エストニア共和国より、Timo さんが訪問し、約 1 ヶ月の間、佐久市内でホームステイをする。
	7 月	長野県立野沢北高等学校の桜井　優花さんが、佐久ライオンズクラブの派遣でエストニア共和国を訪問する。(ホームステイ)
	8 月	新佐久市 10 万都市誕生記念式典に、エストニア共和国サク市から、スエン・ケセレル市長、マレク・リンヌタヤク議長はじめ 7 名と、駐日エストニア共和国アルゴ・カングロ臨時代理大使が出席される。
平成 18 年 (2006 年)	5 月	佐久バルーンフェスティバルに、駐日エストニア共和国アルゴ・カングロ臨時代理大使が出席される。
	7 月	佐久市三浦市長と菊原市議会議長が、エストニア共和国サク市を公式訪問する。
	7 月	エストニア民族舞踊団ソプラスが、佐久市コスモホールで公演を行う。
	10 月	佐久市三浦市長が、駐日エストニア共和国ピーター・ミラー新特命全研大使に拝謁する。

平成 19 年 (2007 年)	5 月 1 日	日本国佐久市・エストニア共和国サク市　友好都市協定調印 エストニア共和国サク市より、レミー・オロ議長、アルボ・ペルニステ市長とサク市関係者 3 名、駐日エストニア共和国特命全権大使ピーター・ミラー閣下及び佐久市関係者の皆様にご出席いただき、佐久市役所において、友好都市協定調印式が執り行われた。
	6 月 29 日 ～7 月 6 日	佐久市三浦市長、菊原市議会議長が、エストニア共和国サク市を公式訪問する。
平成 23 年 (2011 年)	5 月 3 日 ～5 月 5 日	佐久バルーンフェスティバルに、エストニア共和国サク市のクノ・ローパ市長はじめ公式訪問団が訪問。
平成 24 年 (2012 年)	5 月 2 日 ～5 月 3 日	佐久バルーンフェスティバルに、駐日エストニア共和国トイヴァ・タサ特命全権大使が出席。
	5 月 9 日 ～5 月 16 日	友好都市提携 5 周年を記念し、佐久市小池副市長、中澤市議会議長はじめ市民 10 名がエストニア共和国サク市を公式訪問する。
	8 月 4 日 ～8 月 26 日	佐久乃おぎのやにおいて、「ＳＡＫＵエストニアフェスティバル 2012」を開催。エストニア共和国料理の提供やＳＡＫＵビールなどの販売、写真パネルの展示を行う。
平成 25 年 (2013 年)	10 月 18 日	在エストニア日本国　甲斐哲朗　特命全権大使が佐久市を訪問される。

平成 26 年 (2014 年)	2 月 8 日	エストニア共和国出身の大相撲元大関　把瑠都氏の断髪式に、日本・エストニア親善協会　花岡茂会長と観光交流推進課長が参加する。
	10 月 6 日	国際青年育成交流事業（外国青年招聘）の一環として、エストニア共和国の青年 10 名が佐久市を訪問する。
	11 月 9 日	佐久市コスモホールにおいて、エストニア共和国サク市を舞台としたこころのミュージカル～コイトラ～夜明け前が公演され、駐日エストニア共和国ヤーク・レンスメント特命全権大使ほか 1,400 名が鑑賞する。
平成 27 年 (2015 年)	5 月 2 日 ～5 月 5 日	佐久バルーンフェスティバルに、エストニア共和国サク市ティート・ヴァヘノッム市長、タネル・オッツ議長はじめ公式訪問団が訪問。開会式への出席や子ども交流実現に向けた協議及び市内視察等を行う。
	10 月 21 日 ～10 月 23 日	エストニア共和国サク市ティート・ヴァヘノッム市長はじめ、学校関係者が佐久市を訪問する。両市の子ども交流実現に向けた協議を行う。

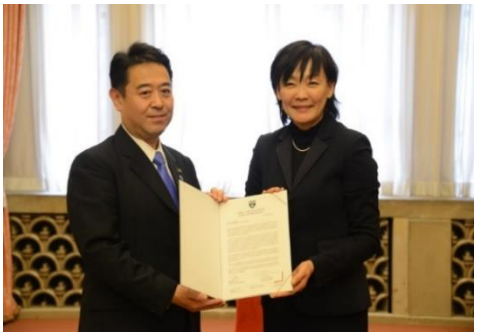
平成 28 年 (2016 年)	1 月 13 日 ～1 月 19 日	佐久市栁田清二市長、小林貴幸市議会議長はじめ 5 名の公式訪問団が、エストニア共和国サク市を公式訪問。サク市創立 150 周年記念式典、子ども交流協力覚書の調印、在エストニア日本国大使館表敬訪問、エストニア陸上競技協会に対し、2020 年東京オリンピックの事前合宿地誘致活動を行う。 
	1 月 26 日	2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における 「エストニア共和国」を相手国としたホストタウン登録　※第一次登録 ・エストニア国内の都市と友好都市協定を結んでいる国内唯一の都市であり、2005 年スペシャルオリンピックス長野大会において、同国選手団をホームステイなどで受け入れた。こうした縁を活かして、同国の事前合宿を誘致するとともに、各種交流や子ども交流事業として相互訪問を開始するなど、交流を深めている。
	4 月 8 日	エストニア共和国首相　ターヴィ・ロイヴァス首相来日歓迎会（安倍首相主催）に栁田市長・小林議長・日本・エストニア親善協会高熊会長他２名が招待され、出席する。

	5 月 3 日 ～5 月 5 日	前在エストニア大使　甲斐哲朗氏がバルーンフェスティバルと夕食会に出席する。
	10 月 24 日 ～10 月 31 日	両市の子ども交流協力覚書に基づき、エストニア共和国サク市の子どもたちが初めて佐久市を訪問し、ホームステイや中学校の体験入学などを通して、友好交流を深めた。
	11 月 16 日	ホストタウン交流事業の一環として、エストニア共和国出身の元大関把瑠都氏を「佐久市親善交流大使」に、前在エストニア大使　甲斐哲朗氏を「エストニア共和国との交流に係るアドバイザー」に任命する。
平成 29 年 (2017 年)	2 月 3 日	在エストニア日本国大使館　柳沢陽子特命全権大使が佐久市を訪問。 市長表敬訪問や市内視察等を行った。 

	2 月 14 日	佐久市栁田清二市長が駐日エストニア共和国大使館主催の独立記念日レセプションパーティーに招待される。
	4 月 22 日	エストニア共和国タルモ・タム農業大臣、駐日エストニア共和国大使館ヤーク・レンスメント特命全権大使が来訪され、龍岡城五稜郭や佐久鯉養殖場などを視察した。
	5 月 3 日 ～5 月 5 日	佐久バルーンフェスティバルに、友好都市提携 10 周年記念として、エストニア共和国サク市　ティート・ヴァヘノッム市長はじめ公式訪問団、駐日エストニア共和国大使館　アルゴ・カングロ参事官、エストニアとの交流に係るアドバイザーの甲斐哲朗氏が出席する。

	5 月 3 日 ～5 月 5 日	佐久市親善交流大使の把瑠都氏が、佐久バルーンフェスティバル・佐久鯉マラソンに参加し交流を深めた。
	7 月 29 日 ～8 月 5 日	佐久市中学生海外研修として、佐久市の中学生が初めてエストニア共和国サク市を訪問し、一般家庭へのホームステイや子ども交流を通じて交流を深めた。

	7 月 31 日	エストニア共和国オリンピック組織委員会マルティ・ラウ副事務総長が来訪され、駐日エストニア大使館アルゴ・カングロ参事官とともに、佐久市総合運動公園陸上競技場や宿泊施設等を視察。
	10 月 23 日 ～10 月 31 日	エストニア共和国サク市子ども交流として、エストニア共和国サク市の子どもたちが来市。市内の中学生との子ども交流や一般家庭でのホームステイを通じて交流を深めた。
	10 月 25 日	エストニア共和国のアコーディオン奏者 トゥーリキ・バートシク氏によるミニコンサートを、市役所市民ホールにおいて開催。約 200 名が鑑賞した。
	10 月 27 日	ホストタウン交流事業の一環として、市内で在日エストニア人によるエストニア料理教室を開催。また、エストニアの日本語弁論大会で優勝のエストニア人との交流も行った。

平成 30 年 (2018 年)	2 月 24 日 ～3 月 2 日	ホストタウン交流事業「エストニアウィーク」を開催。市内スーパーマーケットにおいて、エストニアの食品の紹介や販売を行った。 また、同時開催の「エストニア祭」では、トークショーやエストニア政府観光局日本事務所による観光プレゼンなどを行った。
	2 月 26 日	総理大臣公邸にて、栁田市長および佐久市・姉妹都市友好都市親善協会依田方伯会長はじめ 4 名が、エストニア共和国サク市長とサク市議会議長の連名による書簡を安倍昭恵内閣総理大臣夫人から受け取る。 
	5 月 3 日 ～5 月 5 日	佐久バルーンフェスティバルに、駐日エストニア共和国大使館ヤーク・レンスメント特命全権大使、アルゴ・カングロ参事官、把瑠都佐久市親善交流大使が出席。
	5 月 17 日 ～5 月 24 日	友好都市提携 10 周年を記念して、栁田市長、高橋議長らがエストニア共和国サク市を公式訪問し、顔の見える交流を通して更なる友好を深めた。また、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿地誘致活動も行った。

	7 月 30 日 ～8 月 6 日	佐久市中学生海外研修として、佐久市の中学生がエストニア共和国サク市を訪問し、一般家庭へのホームステイや子ども交流を通じて交流を深めた。
	8 月 19 日 ～8 月 22 日	エストニアラジオ放送少女合唱団 49 名が来訪し、市内中学校合唱部との交流や、小学校での給食体験・ミニコンサートなどを行った。 また、シチズン佐久工場などの市内見学も実施した。

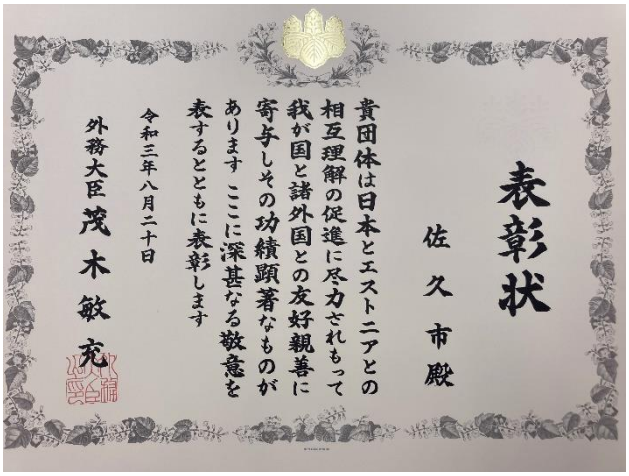
	9 月 15 日	「ワールドクリーンアップデイ」として、日本・エストニア親善協会を中心に、佐久市の玄関口である佐久平駅周辺の清掃活動を行った。
	9 月 16 日	佐久市コスモホールにおいて「エストニア国立男声合唱団」の公演を開催。会場ではエストニアのハチミツや雑貨等の販売も行った。
	10 月 10 日	エストニア共和国のアーティストの来日にあわせ、佐久平交流センターにおいて「エストニア音楽祭・佐久」を開催した。 また、「エストニア・デザイン・デイ」としてエストニアのデザイナーの作品の展示・販売も行った。
	10 月 19 日 ～10 月 25 日	エストニア共和国サク市子ども交流として、エストニア共和国サク市の子どもたちが来市。市内の中学生との子ども交流や一般家庭でのホームステイを通じて交流を深めた。

	11 月 10 日 ～11 月 13 日	2020 年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致活動の一環で、エストニア共和国陸上競技協会のシリエ・リッペ事務局長とスポーツディレクターのクリスタル・ベレンセン氏が来市。佐久総合公園陸上競技場等のスポーツ関連施設の視察を行った。また、市内小学校を訪問し、授業見学と子どもたちとの交流を行った。
平成 31 年 (2019 年)	3 月 9 日 ～4 月 14 日	佐久市立近代美術館において、特別企画展「北欧の小さな宝石箱・ エストニア　―エストニアの古伝を紡ぐ　カルヨ・ポルの作品を中心に―」を開催。
令和元年 (2019 年)	5 月 1 日	日本国佐久市・エストニア共和国サク市　姉妹都市協定調印 エストニア共和国サク市より、ティート・ヴァヘノッム議長、 マルティ・レヘマー市長とサク市関係者 5 名、駐日エストニア共和国特命全権大使ヴァイノ・レイナルト閣下及び佐久市関係者の皆様にご出席いただき、佐久市議会本会議場において、姉妹都市協定調印式が執り行われた。

	7月2日 ～7月9日	エストニア共和国訪問 東京2020オリンピック競技大会における事前合宿に関する覚書について、エストニア共和国オリンピック委員会と協定書の調印を行う。 エストニア共和国パラリンピック委員会を表敬訪問し、パラリンピック選手団の事前合宿誘致活動を行う。 令和元年5月1日の姉妹都市協定調印と事前合宿調印のご報告のため、エストニア共和国ケルスティ・カリユライド大統領、在エストニア日本国大使館松村一臨時代理大使を表敬訪問。 日本・エストニア親善協会会員（11名）が、5年に1度開催の「歌と踊りの祭典」へ参加。親善協会員とともに、サク市民と交流を行う。
	8月1日 ～8月8日	佐久市中学生海外研修として、佐久市の中学生8名がエストニア共和国サク市を訪問し、一般家庭へのホームステイや子ども交流を通じて交流を深めた。

	8 月 21 日 ～8 月 24 日	世界柔道選手権東京大会に出場したエストニア柔道チーム 8 名が、佐久市で事前合宿を行い、佐久長聖高校柔道部との合同練習により、交流を深める。
	8 月 27 日 ～8 月 29 日	世界柔道選手権のエストニア選手を応援する市民ツアーを行う。
	9 月 1 日	エストニア人アーティスト、姉妹都市エストニア・サク市音楽学校生徒による音楽公演「エストニア・ミュージック・デイ」を開催、また、エストニア伝統楽器カンネルのワークショップ、物産品等の販売を行う。

	9月2日	東京2020オリンピック・パラリンピックのゴールドパートナーである株式会社明治様と、ホストタウン交流事業を推進するにあたり、相互に連携・協力するための「東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業に関する協定」を締結。
	9月24日	在エストニア日本国大使館　北岡元特命全権大使が佐久市を訪問。 市長表敬訪問や市内視察等を行った。
	9月28日 9月29日	佐久市子ども未来館プラネタリウムにおいて、エストニアアーティストによるコンサートを開催。また、「まちじゅう音楽祭」にも出演し、エストニア伝統楽器カンネルを演奏した。

	10 月 22 日 ～10 月 26 日	エストニア共和国サク市子ども交流として、エストニア共和国サク市の子どもたちが来市。市内の中学生との子ども交流や一般家庭でのホームステイを通じて交流を深めた。
令和 2 年 （2020 年）	2 月 10 日 ～2 月 11 日	ユリ・ラタス　エストニア首相歓迎 安倍総理主催晩餐会に栁田市長が招待され出席（於：総理大臣公邸）。 明治記念館で開催された、エストニア共和国独立記念日レセプションパーティーに、栁田市長、神津議長、小林元議長、日本・エストニア親善協会会長・副会長が招待される。
	12 月 1 日	エストニア共和国と日本との相互理解の促進に寄与した功績が認められ、サク市が日本の外務大臣表彰を受賞した。 

令和 3 年 （2021 年）	2 月 23 日	エストニア大統領府による勲章受章者が公表され、サク市との姉妹都市交流を通じたエストニア共和国と日本両国の関係の発展への功績により、栁田清二佐久市長が「テッラ・マリアナ十字勲章　4 等級」を受章した。同勲章はエストニア共和国に顕著な功績のあった外国人に授与される勲章で、外国人に授与される勲章としては最上位の勲章
	5 月 23 日	エムケー樫山グループの元会長、樫山孝様より、エストニアピアノファクトリー社製のグランドピアノを寄贈いただいた。 寄贈者の樫山様、駐日エストニア共和国特命全権大使ヴァイノ・レイナルト閣下をお招きして、イオンモール佐久平セントラルコートにてエストニアピアノお披露目式を開催した。
	7 月 12 日 ～7 月 29 日	東京 2020 オリンピック競技大会の事前合宿でエストニア選手団がホストタウンである佐久市内の運動施設で事前合宿を行った。 フェンシング、柔道、レスリング、陸上競技の 4 種目で 8 名の選手が選手村に向かうまでコンディションの最終調整などを行った。
	7 月 23 日	東京 2020 オリンピック開会式が東京の国立競技場で開催され、オリンピックが開幕した。

	8月6日	エストニア共和国のケルスティ・カリユライド大統領が佐久市に来訪された。 本年2月に栁田市長が受章したエストニア共和国の勲章「テッラ・マリアナ十字勲章　第4等級」の授与式が市役所で行われた。
	9月5日	東京2020パラリンピック閉会式が東京の国立競技場で開催され、東京2020オリンピック・パラリンピックが閉幕した。 佐久市で事前合宿を行ったフェンシングのオリンピック選手が、女子エペ団体で金メダル、女子エペ個人で銅メダルと大きな活躍をした。
	10月9日	在エストニア日本国大使館　松村之彦特命全権大使が佐久市を訪問。市長表敬訪問や市内視察等を行った。
令和4年 （2022年）	5月24日	エストニア共和国サク市子ども交流として、お互いの国を行き来しての交流ができないため、オンラインにより自己紹介や質問を出し合い答える等の交流を行う。

	10 月 18 日 ～10 月 22 日	エストニア共和国サク市子ども交流として、エストニア共和国サク市の子どもたちが佐久市を訪れ、温泉等の日本文化体験や市内の中学校を訪問し友好を深めた。
令和 5 年 （2023 年）	2 月 11 日 ～2 月 16 日	エストニア共和国ホストタウンレガシー事業として、佐久市民がエストニアの文化に直接触れ合うことができる「エストニアフェア」を佐久市内で開催した。エストニアのお菓子であるヴァストラクッケルの作り方の「実演会」やエストニア共和国の食品や雑貨の「物産販売」、エムケー樫山グループの元会長、樫山孝様より寄贈いただいたエストニアピアノファクトリー社製グランドピアノを活用した「演奏会」や「まちかどピアノ」の設置を通じて市民の方にエストニア共和国を身近に感じていただいた。
	5 月 2 日 ~5 月 3 日	4 年ぶりのフルスペック開催となった佐久バルーンフェスティバル 2023 に合わせて、駐日エストニア共和国大使館よりヴァイノ レイナルト特命全権大使とカイレ ユルゲンソン大使令夫人、秘書のアンナ マドリ ピルさんの 3 名が佐久市を訪れた。このとき、エストニア共和国出身の作曲家であるアルヴォ・ペルト氏の楽曲の楽譜をプレゼントいただいた。

令和 5 年 （2023 年）	7 月 31 日 ～8 月 7 日	佐久市中学生海外研修として、佐久市の中学生 8 名がエストニア共和国サク市を訪問し、一般家庭へのホームステイや子ども交流を通じて、日本とは異なるエストニアの文化に触れ、現地の学生らと交流を深めた。
	10 月 16 日 ~10 月 21 日	エストニア共和国サク市子ども交流として、エストニア共和国サク市の子どもたちが佐久市を訪れ、書道や酒蔵での日本文化体験や市内の中学校を訪問し友好を深めた。
令和 6 年 （2024 年）	5 月 2 日 ～5 月 3 日	佐久バルーンフェスティバル 2024 に合わせて、駐日エストニア共和国大使館よりマイト・マルティンソン特命全権大使と　大使令夫人の 2 名が初めて佐久市を訪れた。
	7 月 29 日 ～8 月 5 日	佐久市中学生海外研修として、佐久市の中学生 8 名がエストニア共和国サク市を訪問し、一般家庭へのホームステイや子ども交流を通じて、両国の文化の違いに触れ、現地の学生らと交流を深めた。

令和６年 （2024 年）	10 月 15 日 ～10 月 22 日	子ども交流事業として、エストニア共和国サク市の８名の子どもたちが佐久市を訪れ、中学校での琴演奏などの日本文化体験や小学校での日本の給食体験などを通じて、佐久市の小中学生との友好を深めた。
	10 月 19 日 ～10 月 22 日	エストニア共和国サク市より、マルティ・レヘマー市長および、エーロ・アラマー議長ほか公式訪問団の皆様が、姉妹都市提携５周年に合わせて佐久市を訪れ、佐久平ハーフマラソン、さくまんが舎などの見学や、市内の小学校と高校を訪問することで、両市の市政運営への理解を深めた。

※役職名等は、当時の名称に統一した。